

中学校 第1学年 道徳学習指導案

平成27年10月15日 木曜日 第5校時

1年生

場 所

授業者

1 主題名 勤労の尊さ 4－(5)

2 ねらいと資料

勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする道徳的実践意欲を培う。

〔資料名〕 「午前一時四十分」 (あかつき)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳の価値について

学習指導要領第3章「道徳」の内容4－(5)には、『勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。』とある。実際の就労経験のない中学生にとって、深く考えるには難しいかもしれないが、「勤労」の意義やすばらしさについて考えさせたい。そして、責任をもって仕事をすることや自分の仕事を通して社会へ貢献しようとする気持ちを育てたい。

(2) 資料について

本資料は、84歳の老母が毎日午前一時四十分にそと家を出て、広告の折り込み作業や配達をするという、すさまじいばかりの仕事に対する思いが描かれている。「自分が行かなかったら困る」という仕事に対する老母の責任感。老母のすさまじいばかりの仕事に対する思いは、生徒たちにとって意外であろうが、強く印象づけられると考える。その老母の姿を通して、働くということの意義を探っていききたい。また、ニートの出現など、勤労意欲を喪失した若者が増加する昨今、この資料で、この老母と出会うことで、生徒たちは「働くこと」の意味を考え、「働くこと」についての意義やすばらしさについても考えさせたい。

(3) 生徒観

本学級の生徒は、学校生活にも慣れ穏やかな毎日を送っている。真面目に授業や家庭学習に取り組み、清掃や作業なども労をいとわず活動することができる。人数が少ない分、役割が多く忙しい日々であるが自分たちで判断し行動することが少しずつ増えてきており、今、できることを精一杯、最大限に力を発揮している現段階である。今後は自分の思いや考えを文章や言葉で表現ができるようにしていきたいと考える。そして、スクールライフや作文などの記述をしっかりと書くことや、自分の考えや思いを明確に伝えることができるようにスピーチにも取り組んでいきたいとも考えている。進路を考えながら、先を見通した人生を送ることができるよう、様々なとらえ方を知り、勤労の尊さや意義を理解させていきたい。

(4) キャリア観

キャリア教育が目指す「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な能力の育成」のためには、人生における「働くこと」の重要性の意義についての考えや自己の将来に対する意欲の基盤となる勤労観・職業観等の価値観を自ら形成・確立できる子供の育成が求められている。そこで、学校における道德教育は、豊かな心をはぐくみ、人間としての生き方の自覚を促し、道德性を育成することをねらいとする教育活動であり、社会の変化に主体的に対応して生きていくことができる人間を育成する上で重要な役割を担うことからキャリア教育との深いかかわりがあるといえる。

本主題は、学習指導要領第3章「道德」の内容 4 主として集団や社会とのかかわりに関することの(5)『勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。』である。これを、キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」に関する内容項目から考えると、「1 人間関係形成・社会的形成能力」と「4 キャリアプランニング能力」となるが、本時は、「4 キャリアプランニング能力」の視点で考えていきたい。

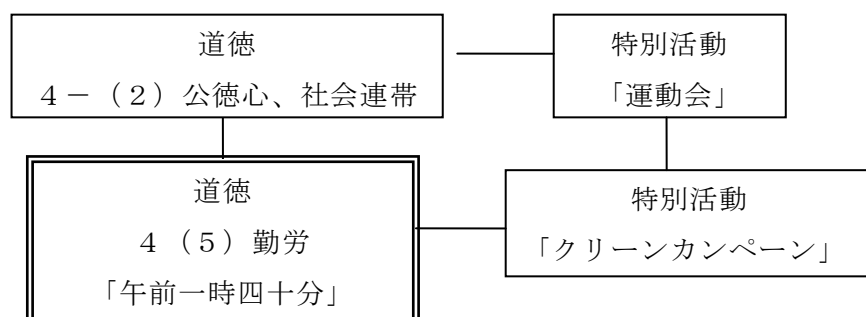
○ キャリア教育視点でのつきたい力

- ・「働く」ことの意義や役割を理解し、自分の将来のつながりを考えることができる。

(キャリアプランニング能力)

4. 他の教育活動との関連

<第1学年>



5 準備

- ・ワークシート ・みらいスイッチ ・心情円 ・ホワイトボード ・ホワイトボード用マーカー

6 学習指導過程

	学 習 活 動	主な発問と予想される発言や心の動き ☆キャリア教育視点での留意事項	指導上の留意点や支援の観点 指導の方法・※評価の観点
導入	■学習内容を知らせる。	【導入発問】 人は何のために仕事をするのだと思いますか。	・本時の課題への意識づけをする。

午前一時四十分

小林 禎仁

◎ 何のために働くのか

- ・ お金を稼ぐため
- ・ やりがいがある
- ・ 世の中に役立つため

「母」の仕事＝新聞配達

- ・ つらい
- ・ 腹の立つこともあるが感激もさせられる

どうして続けようとするのか？

仕事から「母」が感じているもの

- ・ 充実感
- ・ やりがい
- ・ 社会への奉仕
- ・ 社旗への貢献